

# シラバス

授業科目	生体防御Ⅱ		
(英文名)	BioregulationⅡ		
担当教員	宇野勝次、田淵紀彦		
単位数(期別)	△2(後)	対象学生	3P

## ■授業のねらい・概要■

免疫反応に基づく生体の異常を理解するために、アレルギー反応と炎症のメカニズムの知識を身につけ、代表的なアレルギー疾患、自己免疫疾患、免疫不全症などの免疫関連疾患、および移植免疫、感染免疫、腫瘍免疫など免疫反応のコントロール、さらには免疫賦活療法、ワクチン接種、抗体などの臨床応用の関する基本的知識を身につける。【C10 (2)】

## ■授業(学習)の到達目標■

- 1 アレルギー反応について分類し、担当細胞および反応機構を説明できる。
- 2 炎症の一般的症状、担当細胞および反応機構を説明できる。
- 3 代表的なアレルギー疾患の特徴と成因について説明できる。
- 4 代表的な自己免疫疾患の特徴と成因について説明できる。
- 5 代表的な免疫不全症候群を挙げ、その特徴と成因を説明できる。
- 6 細菌、ウイルス、寄生虫などの感染症と免疫反応との関わりについて説明できる。
- 7 腫瘍排除に関する免疫反応について説明できる。
- 8 移植免疫と免疫反応の関わり(拒絶反応、免疫抑制剤など)について説明できる。
- 9 代表的な免疫賦活法について説明できる。
- 10 主なワクチンについて基本的特徴を説明できる。
- 11 予防接種について、その種類と実施状況を説明できる。
- 12 モノクロナール抗体とポリクロナール抗体の作成方法を説明できる。
- 13 抗原抗体反応を利用した代表的な検査方法の原理を説明できる。
- 14 再生医療の反応機構と臨床応用について説明できる。

## ■回数ごとの授業内容■

- |                    |                            |
|--------------------|----------------------------|
| 1 アレルギー反応の発現機構(宇野) | 11 予防接種(宇野)                |
| 2 炎症反応のメカニズム(宇野)   | 12 モノクロナール抗体とポリクロナール抗体(田淵) |
| 3 アレルギー疾患の発現機構(宇野) | 13 免疫学的検査法(田淵)             |
| 4 自己免疫疾患の発現機構(宇野)  | 14 再生医療(田淵)                |
| 5 免疫不全症の発現機構(宇野)   | 15 定期試験(宇野・田淵)             |
| 6 感染免疫(宇野)         |                            |
| 7 腫瘍免疫(宇野)         |                            |
| 8 移植免疫(宇野)         |                            |
| 9 免疫賦活療法(宇野)       |                            |
| 10 ワクチン(宇野)        |                            |

## ■成績評価の方法・基準■

臨時試験並びに定期試験の成績によって評価する。

## ■使用テキスト■

講義にはプリントを配布する。

# シラバス

---

## ■参 考 書■

---

スタンダード薬学シリーズ4 生物系薬学 Ⅲ.生体防御/日本薬学会編/東京化学同人  
薬系免疫学/植田正・前仲勝実/南江堂  
医科免疫学6版/菊地浩吉/奈良栗田書店  
免疫生物学—免疫系の正常と病理(原著第5版)/監訳・笹月建彦/南江堂など

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	月曜日～土曜日：随時
----------------------------	------------